

各セクションの報告・情報

THE : 現場

たまり場ぱれっと

～今だからこそ、チャレンジ～

7月11日(日)、夏の始まりを予感させる日差しの中「たまり場《はなれ》」を開催しました。東京都は、まん延防止等重点措置期間ではありましたが、前回同様、少人数で複数のコースに分かれ、同じ時間、違う場所で一斉に活動することで三密を避け、感染症対策をしっかり行なった上で活動をしました。

●趣向を凝らした4つのコース

今回で「たまり場《はなれ》」も5回目を数え、制約の多い中、いかにして皆で楽しむか、これまでの《はなれ》の経験を活かしながらアイデアを膨らませ企画内容を考えました。開催延期となった5、6月に検討を重ね、行なわれたコースは4つ。

- ・明治学院大学へ行こう！
- ・カルタを作って遊ぼう
- ・オンライン熊本旅行
- ・楽しい暮らしについて考える会

まずは、大好評の大学へ行こうコース。今回は、明治学院大学を訪れました。美しく趣ある校内を3チームに分かれて巡り、模擬裁判が行なわれる教室や講堂を見学し、ゲームを織り交ぜながら散策「貴重な体験だった！」とのことでした。

カルタを作って遊ぼうコースでは、カルタを表現豊かに作成し、百人一首対戦も行なわれ大いに盛り上がりました。「百人一首の句をあんなにたくさん覚えていてびっくり！」と、仲間の意外な一面に驚いたりしました。

オンライン熊本旅行コースでは、熊本在住のボランティアが、熊本の綺麗な風景やご当地クイズなどを盛り込んだスライドを作成しオンラインで繋がり、東京にいなながら旅行気分を味わうことができました。「ぜひシリーズ化して欲しい！」との声もあり、コロナ禍ならではの工夫に富んだ企画となりました。

そして、楽しい暮らしについて考える会コースでは、家の造りや住まいの立地など、それぞれが考える“理想の家”について自由に話し合い「思い描く理想が違って面白い！」とお互いの価値観を共有することができました。



【明治学院大学校内を散策】

●今だからこそできること

今回の《はなれ》では、コロナ禍の今だからこそ思いつくアイデアがある可能性を感じました。企画を通して、離れていても心は繋がれることを、マスクの奥の皆の笑顔が教えてくれました。そして「今度はここを工夫しよう」「次はこうしたら面白いかも」という意欲も生まれました。新しいチャレンジは、私達を前進させ絆をより強くすることを実感しました。(なかい)

おかし屋ぱれっと

ひさびさ
～久々のおたのしみ企画～

夏休み前に毎年実施していた“暑気払い”。皆でかき氷やピザを作って食べたり、それぞれの目標を発表したり…仕事の労をねぎらい、休み明けも頑張ろう！と皆がひとつになる楽しい機会でしたが、コロナ禍で昨年は実施できていませんでした。今年は何とか実施したいと考え、形を変え2日間に分けて“ウーバーイーツでお昼を頼んで食べよう♪”という企画を行ないました。究極の出汁うどん&カレー・本格タイ料理・ちょっと珍しいおむサンド(お米で作ったおにぎり風サンドイッチ)など、地元恵比寿や代官山のお店からそれぞれがチョイス。ほおぼる皆の顔の嬉しそうなこと！中々外食にも行けない昨今、大満足！！とメンバー達の表情が物語っていました。(たまい)

ぱれっとホーム

はは
～母との面会～

入居者のSさんは月に一度高齢者施設に入所しているお母さまの面会に行きます。Sさんは面会をととても楽しみにしていて、面会に行く時は必ず週刊誌の差し入れを持って行きます。コロナ禍の為、施設での面会はタブレット越しになりますが、ご本人はいつも楽しそうにしています。お母さまもご本人もタブレット越しの面会にはあまり馴染まない様子ですが、お二人とも画面を見ながら話をしていきます。体調の事やお昼ご飯の話等、お互いの普段の生活の話をして過ごします。面会時間は長くても30分程なので、ゆっくりと言葉を選びながら話をしていくとあっという間に終了の時間がやってきてしまいます。お母さまもタブレット越しでも、楽しそうにSさんの話を聞いています。コロナが早く落ち着いて、直接面会が出来る様になってほしいと感じています。(はぎわら)

ぱれっとインターナショナルジャパン(PIJ)

ひさ
～久しぶりにモンゴルの皆さんと～

少し前の話になりますが、6月21日(月)に約4か月ぶりとなる「ぱれっと&モンゴルAPDC(※)オンラインミーティング」を開催しました。今回はモンゴル全土の支部の中から、4名のスタッフが参加し、いろいろな意見交換を行ないました。その中で印象に残ったことは、「モンゴルの障がい児の親は、『子どもはもう成長できない』と思い込み、発達支援や就労支援のサービスを受けることを考えられない人が多い」という意見でした。かつての日本と良く似ている話に、ぱれっと側もうなずくところが多くありました。今後もこうしたミーティングを続けながら、現場スタッフ同志でも意見交換をしていこうと思います。(みなみやま)

※APDC…Association of Parents with Disabled Children (モンゴル障がい児親の会)